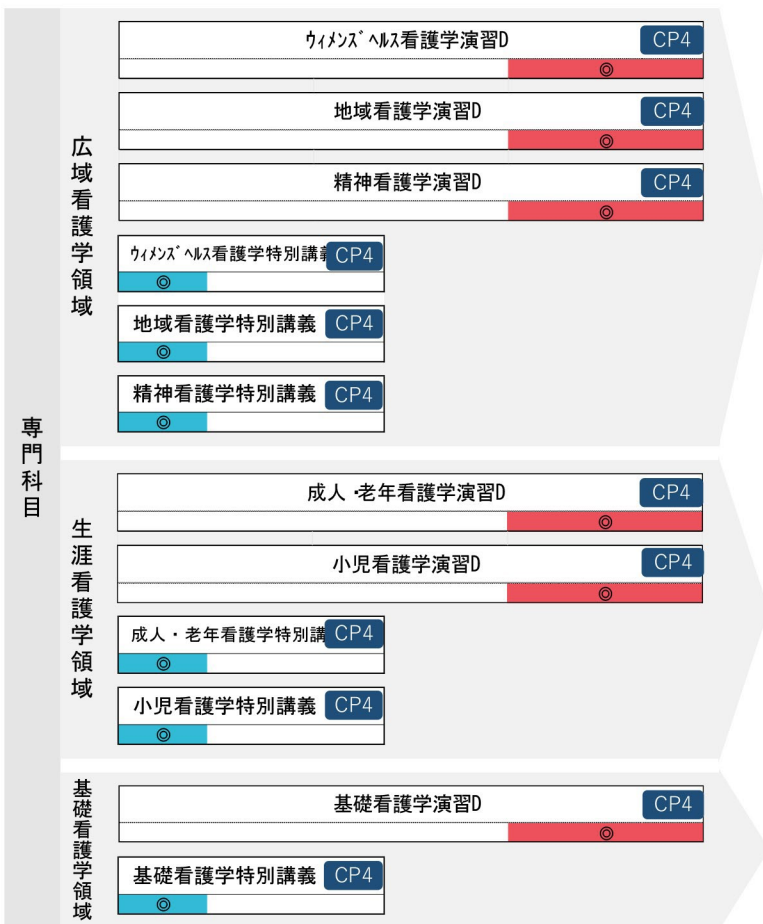


# 【博士後期課程】カリキュラムツリー

養成する人材像

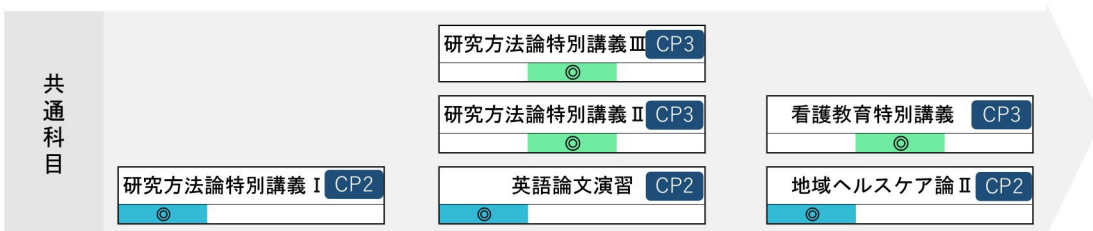
高度な倫理的判断力を持ち、看護学の高度な専門性に立脚し、保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を持ち、自立して高水準の研究を遂行し、確かな教育力と研究成果の社会実装・展開力を兼ね備え、社会の創造に貢献できる人材を養成することを目的とする。

学位授与方針	DP1	保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を修得している。
	DP2	研究成果を実装することを視野に入れた確かな教育力と高度な倫理的判断力を持ち、看護学の高い水準の研究を自立して遂行する能力を修得している。
	DP3	看護学の研究成果を発信し、学術的発展に貢献できる能力を修得している。



- CP1** 教育課程は「共通科目」、「専門科目」、「専門研究科目」の3科目区分から構成する。
- CP2** 保健医療を取り巻く複雑かつ変化する環境に対応し得る科学的知見と俯瞰的な視点を修得する。
- CP3** 研究成果を実装することを視野に入れた確かな教育力と看護学の高い水準の研究を遂行する能力を修得する。
- CP4** 国内外の学術誌や各専門看護学の実践に関する教育・研究を通じて、看護学の学術的発展に貢献できる能力を修得する。
- CP5** 学術的意義のある研究課題を見出し、自立的・計画的・持続的に博士論文を作成する。

※CP1はすべての科目に関連する



【凡例】

